

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年12月16日(2021.12.16)

【公開番号】特開2020-39611(P2020-39611A)

【公開日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-011

【出願番号】特願2018-169692(P2018-169692)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤の正面に形成された遊技領域に向かって遊技球を発射する発射手段と、前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能であり、遊技球の入球に基づいて内部抽選を実行する契機となる始動入球手段と、

前記内部抽選が実行されることに基づいて、変動表示を実行する変動表示手段と、前記変動表示手段に演出を実行させる演出実行手段と、を備える遊技機であって、前記演出実行手段は、

第1の契機の成立に基づいて、所定期間にわたって前記変動表示手段に第1の演出を実行させ得る第1演出手段と、

前記第1の契機とは異なる第2の契機の成立に基づいて、前記変動表示手段に前記第1の演出が実行される前記所定期間中において重複して前記第1の演出と異なる第2の演出を実行させ得る第2演出手段と、を備え、

前記第1の演出は、所定の変化契機の成立に基づいて演出内容が変化し得るものであり、

前記第2演出手段は、前記第1演出手段によって前記変動表示手段で前記第1の演出が実行された状況において、前記変動表示手段で実行された前記第2の演出の表示を徐々に非表示状態に変化させて終了させる終了手段を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の遊技機は、遊技盤の正面に形成された遊技領域に向かって遊技球を発射する発射手段と、遊技領域を流下する遊技球が入球可能であり、遊技球の入球に基づいて内部抽選を実行する契機となる始動入球手段と、内部抽選が実行されることに基づいて、変動表示を実行する変動表示手段と、変動表示手段に演出を実行させる演出実行手段と、を備える遊技機であって、演出実行手段は、第1の契機の成立に基づいて、所定期間にわたって変動表示手段に第1の演出を実行させ得る第1演出手段と、第1の契機とは異なる第2の

契機の成立に基づいて、変動表示手段に第1の演出が実行される所定期間中において重複して第1の演出と異なる第2の演出を実行させ得る第2演出手段と、を備え、第1の演出は、所定の変化契機の成立に基づいて演出内容が変化し得るものであり、第2演出手段は、第1演出手段によって変動表示手段で第1の演出が実行された状況において、変動表示手段で実行された第2の演出の表示を徐々に非表示状態に変化させて終了させる終了手段を備えることを特徴とする。